

地域懇談会意見まとめ（郡津小学校区）

1 事前アンケートより

現状	強み
<ul style="list-style-type: none"> 近所づきあいをわずらわしいと感じている人が多く、立ち話やあいさつをする程度という人の割合が高い 福祉への関心が低い人の理由として、身近にそういう人がいない、福祉活動等をしたことがないという回答が多い 情報提供・活動先の紹介があればボランティア活動が行いやすいという回答が多い 安心して暮らせる地域には、災害時や治安など地域の安全・安心が重要だと考えている人が多い 様々な状況の人が働ける場の整備等、社会参加の場に関することへの満足度が低い 地域活動の担い手不足を不安に思う人の割合が高い 忙しくて時間が取れないこと、健康に自信がないことが地域活動への参加の支障となっている 友人・知人、隣近所など、周囲の人に相談したり手助けを求めている人の割合が減っている 福祉に関心があるが、何をすればいいかわからないという人が多い ボランティア活動をしたことがある人は3割程度で、活動に関する情報提供を多くの人が望んでいる 犯罪をした人の立ち直りへの協力したいと思う人が少ない理由として、接し方がわからないという人が多い 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートでは85%以上の人が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人も7割以上いる 町内会等への加入率は8割程度で、町内会行事などの地域活動に参加意向がある人は9割弱いる 参加や手助けができると思う活動では、見守り活動・災害や防災対策の割合が高い 福祉に関心がある人については、特に高齢者・子どもに関する福祉に関心が高い 子どもの登下校の見守り、隣近所の交流やあいさつなどの声掛けへの満足度が高い 「隣近所の顔も知らない」と回答した人がおらず、人づきあいをわずらわしいと思う人の割合も低い 子どもに関するボランティア活動・助け合い活動の経験がある人、関心がある人が多い 地域の行事やまちの清掃活動といった地域での交流に関する満足度が比較的高い 成年後見制度や再犯防止に関する制度等の認知度が上がっており、啓発活動の効果が見られる 福祉に関心がない人でも、居住地域での地域美化活動や災害・防災対策には参加できると答えている人が一定数いる

2 あったら良いな・できたらいいな

「あったら良いな・できたらいいな」としていただいた意見の内容を整理しました。

地域のつながりと見守り	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の見守りを継続 郡津→家の近く時間が短い、松塚→高齢化問題 ボランティアと民生委員の違いがある。ご本人のニーズ→「見守り」、距離感のとり方がむずかしい。 お店が欲しい！ イベントへの参加が広がらない。ゆうゆうセンターが遠い、保護者の送迎 中学生の参加、交流。特に災害時の力になってほしい... ex. 回覧板、行事の広報を学校でする。→先生方の負担になるのでは
地域のつながりと困りごとを抱える人	<ul style="list-style-type: none"> 話せる場の確保→福祉事業所とのつながりを深めて拠点を使わせてもらう。 松塚ではふれあい館で喫茶やカラオケをして男の人の参加が多い！！郡津でもできたらいいな！！ 郡津では男の人の料理教室がある。幾野でもできたらいいな。 広報で大学とのつながりをつくる ネットショッピングをするにも高齢者はスマホを使えない。大学生とのつながりで学習会をしてもらう。 不登校の悩み... 民生委員さんとかどこにつながればよいのか 幾野ではInstagramの活用をしている。 悩みを相談できる場所があったらいいな。 介護を経験された方がいれば介護のアドバイスを受けてたりできるのでは 小さなグループ単位の相談の場があれば話しやすいのでは。（公民館の和室など） 介護の実体験のある方との接点ができればなお良い

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども連れでちょっと参加できる場があればどうか。ポラリスではそういう方々が来て相談を受けることも多い →周知をどうしていいか発信のしかたが課題 ・ 不登校の悩みを抱えている方が相談できる所が少ない (ポラリスでは毎週水曜日1時間程度行っている)
地域のつながりと安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に松塚から郡津小学校までたどりつかない→松塚公園を活用！！ ・ 向こう三軒両隣、井戸端会議が大切。 ・ イベントとして、フリーマーケット、バザー、交換会ができればいいな ・ 顔なじみをつくることから。 ・ 子どもの遊べる場所 ・ 登校見守り ・ 道路表示 ・ 防災...小中学生の参加をアピールする ・ 地域の防災面でも向こう三軒両隣のあいさつ、コミュニケーションを復活してほしい ・ 井戸端会議があればいいなと思う。 ・ 年代生活スタイルが各々違いすぎるので若い世代はご近所づきあいがほとんどない ・ 何かきっかけ・関わり合う機会があればいいと思う。 ・ 地域に1人でも中心になる人がいると災害時には強い ・ 地域のつながりの強さが災害の時の強さにつながる ・ 子どもが安心して遊べる場所があったらいいな。松塚はあるが幾野はない 今池付近をスケボー、バスケット公園にという意見もあった。 ・ 登下校のボランティアをいつまでやっていけるか ・ アスファルトに「通学路」と書いてもらう。 ・ 人手不足(限られた中でどこまでやっていけるか?) ・ 家にいる人もたくさんおられる 毎日4人で見守り(4ヶ所)をしている
地域で育ち地域を愛する(郷土愛)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物難民の問題。4/26に郡津歴史さんぽを実施する ・ 工場見学。趣味で活動している人を校区福祉委員会として後援していく ・ 高齢者が高齢者を支えている ・ 長宝寺小跡の活用 →地域包括支援センターが近くに欲しい。子育て支援センターもあればいいな ・ 松塚にコンビニ・スクランブル交差点(ハード的なものが足りない) ・ ゆうゆうセンターへの足がない ・ 郡津歴史さんぽを続けていきたい→地域を知ってもらう ・ 郡津区では年2回地域清掃をしており道にゴミが少ない →キレイな町を作ることが郷土愛につながる ・ 校区福祉委員会が主体でなくても既存の団体を応援することも大事。広報して応援する。 ・ お祭り・イベントごと ・ 皆で活動(高齢者も準備から楽しむ) ・ 地域清掃を楽しみながら出来ると良い
地域に住む人・働く人の強みを活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な呼びかけでボランティア増に ・ 人材の見つけ方としてそのイベントの中でお手伝いを依頼する ・ 企業の社会貢献を活用する ・ 人材バンクをつくる ・ 一休交野や特養美来とのつながりを深める ・ 若い人に校区福祉委員会に加入してもらう ・ ポイント的に手伝う人を募集して負担がかからないように協力者を募る。 ・ 男性も参加できること(料理)があれば良いが

3 これからできそうなこと

「あったら良いな・できたらいいな」の意見を踏まえ、自分たちが「これからできそうなこと」としていただいた意見の内容を整理しました。

地域のつながりと見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場見学は継続していこう ・ 校区としてまとまってできるし、企業の協力も◎
地域のつながりと困りごとを抱える人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館の和室の活用 ・ 悩みを聞いてもらっただけで元気になる人もいる→共感できる人とのマッチング ・ ポラリスや幾野ではインスタを活用している (子育てや若い方の情報源を創っていく) ・ 個々に信頼関係が築けるようになるまで時間がかかる。気負わない小さな集いからスタートが良い ・ 民生委員の周知、地域に相談役として存在していることを知ってもらって次につなげていく
地域のつながりと安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の交流につながるイベント、フリーマーケットなどがあれば(制服のリサイクルユースや日用品) ・ リサイクルイベントを行う。 ・ おもちゃの交換会をグラウンドや公民館で行う ・ 防災訓練に中学生に参加してもらいたい。 ・ 小中学校に魅力あるチラシを配布→参加を促す活動をしていく。 ・ 見守りの人員確保 アスファルトに「通学路」と書いてもらう。シルバーさんの活用
地域で育ち地域を愛する(郷土愛)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパー、コンビニが欲しい、郡津駅前に… ・ 郡津歴史さんぽを続けていきたい ・ 郡津歴史さんぽ、工場見学を通して交野を知ることにより郷土愛を育てる。 ・ 住民の力を借りる ・ 人材バンク登録を広げていく ・ 企業のCSR(社会貢献)を依頼し参加していただく。 ・ 高齢者施設の見学 ・ きれいな町を継続
地域に住む人・働く人の強みを活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政を頼らず地域でと言われる。地域内での組織体制作りをしてはどうか